



子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2015年10月号)

〒144-0054 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をさせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



早いもので、今年もあと二月を残すだけとなりました。

「終わり良ければ・・・」ですので、残りの日々を密度濃く活動して行きたいと思えます。

引き続き、よろしくお願い申し上げます。

(目次)

1. 「東北復興グリーンウェイブ」広がる
 2. 「東北復興グリーンウェイブ」“東北のどんぐり”を拾う活動レポート
 3. 「東北復興グリーンウェイブ」苗木を見送る会レポート
 4. 事務局からのお知らせ
- 新・どんぐり博士の育苗講座（2015年10月号）～拾ったどんぐりの名前は？②～

■「J P子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J P子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営 : N P O法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 大谷保育協会

(公社) 国土緑化推進機構

N P O法人C・C・C富良野自然塾

(一社) 日本森林インストラクター協会

N P O法人自然体験活動推進協議会

N P O法人MORIMORI ネットワーク

(一社) 日本オート・キャンプ協会

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

保育環境研究所ギビングツリー



1. 「東北復興グリーンウェイ」拡がる

岩手県山田町で生まれた「東北復興グリーンウェイ」の活動が、山田町と同じく津波で大きな被害を被った岩手県宮古市へ広がりました。今後、全国の参加園で育てられた“東北のどんぐりの苗木”が、山田町と共に宮古市の緑の復興にも役立てられます。早速、宮古市の参加園「赤前保育園」さんと、2015年秋の“どんぐり”を拾う活動が行われましたのでご紹介します。

- ・主催：赤前保育園 ・日時：2015年10月14日（水）10:00～11:15 ・活動場所：園隣接どんぐり山、及び園庭
- ・参加園児数：年中、年長26名 ・日本郵政グループ参加者：津軽石郵便局 長門淳局長



赤前保育園での“どんぐり”を拾う場所は、園の裏山である通称「どんぐり山」です。そしてそこは、園、及び地域の人たちの災害の際の避難場所でもあります。赤前保育園の子どもたちは、日常の遊びの中で避難路や避難場所が体感できるという理想的な環境の中にあります。

赤前保育園の「どんぐり山」には、コナラやミズナラの“どんぐり”がたくさん落ちていました。子どもたちは、「こっちに大きなのが落ちている。」「こっちの方が大きいよ！」と、楽しそうに“どんぐり”を拾っていました。



今回、応援でかけつけてくれた「津軽石郵便局」の長門局長さんにも、子どもたちと一緒に“どんぐり”拾いをお手伝いいただきました。

みんなで拾った“どんぐり”の一部は、赤前保育園の子どもたちによって二つのプランターに植えられ、苗木に育てられます。残りは全国に届ける“東北のどんぐり”として、事務局がお預かりしました。早速、全国の参加園にお届けします。



2. 「東北復興グリーンウェイ」「東北のどんぐり」を拾う活動レポート

宮古市の「赤前保育園」と同じく、今年も「東北復興グリーンウェイ」における「東北のどんぐり」を拾う活動が行われました。

												
<p>岩手県奥州市「駒形保育園」 実施日：10月8日（木） 採取場所：奥州市見分森、水沢公園 参加園児：年長児 41名</p>	<p>宮城県仙台市「バンビの森保育園」 実施日：10月16日（金） 採取場所：岩沼グリーンピア 参加園児：年中児、年長児 43名</p>	<p>岩手県山田町 5 保育園合同 実施日：10月21日（水） 採取場所：豊間根保育園 園庭 参加園児</p> <table border="0"> <tr> <td>「豊間根保育園」</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>「山田町第一保育所」</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>「織笠保育園」</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>「船越保育園」</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>「大浦保育園」</td> <td>2名</td> </tr> </table>	「豊間根保育園」	18名	「山田町第一保育所」	13名	「織笠保育園」	6名	「船越保育園」	8名	「大浦保育園」	2名
「豊間根保育園」	18名											
「山田町第一保育所」	13名											
「織笠保育園」	6名											
「船越保育園」	8名											
「大浦保育園」	2名											

3. 「東北復興グリーンウェイ」苗木を見送る会レポート

■東京都八王子市「東京ゆりかご幼稚園」東北復興グリーンウェイ苗木を見送る活動

- ・日時：2015年5月18日（月）・会場：園の森 ・参加園児数：56名
- ・日本郵政グループ参加者：八王子南郵便局 窪田勝也局長



4. 事務局からのお知らせ

1) 『東北復興グリーンウェイ』in エコプロダクツ2015『東北のどんぐり手渡し会』参加園募集

国内最大の環境展「エコプロダクツ2015」のメインステージにおいて、「東北復興グリーンウェイ」のデモンストレーションとして、「東北の“どんぐり”の手渡し会」を実施します。今年の秋に岩手県山田町で“どんぐり”を拾う活動に参加した五つの保育園の内、三つの保育園の代表園児たちが、山田町で拾った“どんぐり”を、苗木を育てる活動に参加している幼稚園・保育園の子どもたちに手渡す活動です。事務局では、「東北復興グリーンウェイ」の活動テーマである“どんぐりの絆”を、活動に参加してくれている子どもたちに実感してもらうこと、そんな活動テーマを「エコプロダクツ」来場者にお披露目することを目的に開催します。

事務局では、上記のデモンストレーションに参加してくれる参加園を募集中です。短い時間ですが、それぞれの参加園の環境活動もご紹介させていただきます。「エコプロダクツ展」は、多くの企業や団体が出展し、最先端の環境活動を紹介する国内でもっとも権威ある環境の祭典です。みなさんの活動を紹介するにふさわしい機会と思われまので、是非、ご参加いただけます様ご案内申し上げます。進行役は「どんぐりず」のお二人。最後にみんなで、ステージの上で元気に「♪どんぐりえがお」を歌って、踊ります。

詳細は、事務局までお問合せ下さい。ホームページでもご案内しております。⇒ <http://www.kodomonono-mori.net>

○開催日時：2015年12月12日（土） 11:25～12:05 ○会場：東京ビッグサイト「エコプロダクツ2015」イベントステージ

2) 保育に役立つ図書のご紹介

参加園の園長先生からご推薦のあった絵本をご紹介します。



「おふくさん」
文・絵：服部美法 / 第日本図書
読んだ人が笑顔になる絵本です。



「つきにいったうさぎのおはなし」
絵：服部美法 監修：あがたひでこ / 学研
月のことがわかる科学絵本です。

●新・どんぐり博士の育苗講座 (2015年10月号) ～拾ったどんぐりの名前は？②～
前号から、身近で拾う事のできるどんぐりの解説をしています。前回は、子どもたちに人気の、大きくて丸いどんぐりの説明をしました。今回は前回説明したクヌギやミズナラより一回り小さく、細長いどんぐりについて説明します。どんぐり博士：河内和男（「子森ネット」森林インストラクター）



この大きさのどんぐりの木には、冬に葉を全て落とす落葉(らくよう)広葉樹と、冬の間も緑の葉をつけている常緑(じょうりよく)広葉樹があります。それぞれの代表のどんぐりを紹介します。

①落葉広葉樹の代表「コナラ」：北海道の南部・中部と、本州・四国・九州の何処でも見られる最も一般的などんぐりです。大きさは1.5cm前後で、どんぐりの帽子と言われる殻斗(かくと)の模様はうろこ状をしています。そして、冬に葉を落とすので、どんぐりから育った苗も冬の間は葉を落とします。東北復興グリーンウェイ用のどんぐりは、半分以上がコナラです。他にミズナラも混ざっていますが両方とも冬に葉を落とします。ですから、これからの季節、苗が葉を落として枯れたように見えます。でも春には新しい葉が芽吹きますので、心配いりません。

②常緑広葉樹の代表「カシの仲間」：カシの仲間は6種類ほどあります。ここではそれらを区別せず、カシの仲間として覚えて下さい。カシの仲間が自然に見られるのは、関東以西・以南の雪の少ない地方です。南東北、北陸などでも、公園や神社の境内などで見られます。大きさは1.5cm～2cmほどで、コナラとほぼ同じです。違いがはっきりするのは殻斗(帽子)で、横縞模様です。そして、木は冬でも葉を落としません。ですので、カシのどんぐりから育てた苗は、冬でも葉をつけています。